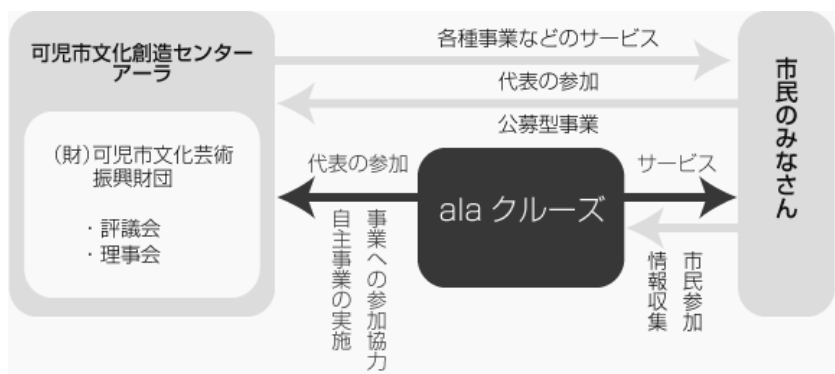
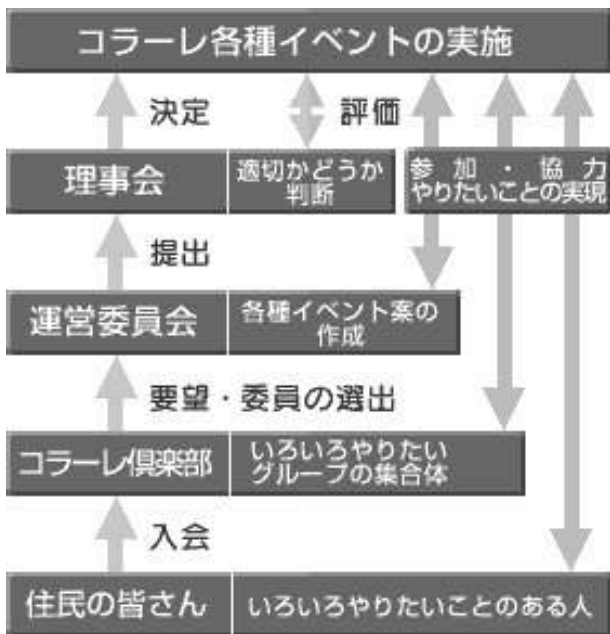


■公立文化施設への市民参画事例		(昨年度、市民ホール建設準備会に提出した資料を一部修正)		参考資料 1
	可児市文化創造センター「a l a」(岐阜県可児市)	黒部市国際文化センター「コラーレ」(富山県黒部市)	北上市文化交流センターさくらホール(岩手県北上市)	
人口	人口 101,566 人 38,975 世帯 (平成 23 年 10 月 1 日現在)	人口 42,713 人 14,817 世帯 (平成 23 年 9 月 30 日現在)	人口 93,505 人 34,612 世帯 (平成 23 年 9 月 30 日現在)	
施設構成 (概要)	大ホール (固定 1,019 席) / 小ホール (固定 311 席) / 映像シアター (100 席程度) / 美術ロフト / 演劇ロフト / 音楽ロフト / ギャラリー / インフォメーション / 情報コーナー / レセプションルーム / ワークショップルーム (2 室) / 創造スタッフ室 / デジタルアート工房 / 演劇練習室 / 音楽練習室 (3 室) / 木工作業室など	大ホール (固定 886 席) / マルチホール (移動 208 席) / リハーサル室 / 会議室 (2 室) / 和室 (5 室) / 創作室 (2 室) / 展示室 (2 室) / レストランなど	大ホール (1,406 席) / 中ホール (最大 461 席) / 小ホール (最大 264 席) / アートファクトリー (ミュージックルーム 2 室、アンサンブルルーム 2 室、レッスンルーム 2 室、小アトリエ 2 室、大アトリエ、スタジオ、多目的室 2 室、会議室 2 室、和室 3 室、キッズルーム他)	
運営母体	公益財団法人 可児市文化芸術振興財団	財団法人黒部市国際文化センター	財団法人北上市文化創造	
市民の運営参画組織	ONPO 法人 a l a クルーズ 自主運営組織として各種事業を展開するとともに、(財)可児市文化芸術振興財団が行う諸事業と連携し、市民の文化振興に対する知識の高揚、市民の文化・芸術の創造と発展に寄付することを目的とし活動している。 ・会員数：約 100 人 / 年会費：一般 1 口 2,000 円	〇運営委員会 地方からの芸術と文化の発信基地として産声を上げ、地域住民の憩いの場として愛され続けている。建設前から現在に至るまで一貫して実施してきた市民参画による市民自らの意志 (企画) と手 (ボランティアによる運営参加) による運営の成果 であり、今後も多くの市民の参画を得ながら事業を実施する。 ・運営委員会 (15 人) : アクティブグループ及び有識者から選ばれるボランティア / アクティブグループ (サークル的組織、施設ボランティア含む) 〇コラーレ倶楽部 会員数：約 700 人 年会費 3,000 円 〇特典：情報誌毎月送付、チケットの先行予約、自主公演チケット 10% オフ、館内レストラン 10% オフ、アクティブグループへの参加	〇特定非営利活動法人 芸術工房 市民が自らアートマネージメントを進める場として設立。行政・芸術施設・アーティスト・青少年の間に立ち、市民のニーズを敏感に把握しながら、鑑賞だけでなく様々な事業の実施や協力、芸術活動の支援、芸術施設での来館者サービス等を行う市民活動組織。行政や芸術施設とパートナーシップを持ちながら、芸術の普及と活性化及び人材育成事業等を行うことにより、芸術文化の薫る心豊かな社会の実現を目指す。 ・登録会員：123 人【平成 21 年 7 月 31 日現在】 ・レギュラー会員 (年間 6,000 円) 30 名 / アート会員 (年間 3,000 円) 21 名 / フリーサポーター (登録料 500 円) 72 名 ・会員通貨制度 (アーツ) ・会計規模年間 500 万円前後	
友の会	登録会員：約 5,000 人 特典：情報誌や案内の送付、チケットの先行購入	・コラーレに関する全ての事業と運営について運営委員会が企画立案し、理事会に提案。(細部については事務局が調べる) ・アクティブグループとして「会場案内」「会場コーディネート (花生け)」「一時保育」「美術制作」「裏方サポート」「通信発行」の活動。他に音楽系同好会などもあり	・鑑賞促進 (行政や芸術施設の主催する公演の鑑賞およびチケット購入) ・公演業務 (行政、芸術施設の主催する公演のフロント、託児、舞台、チラシ折込み、他公演業務) ・公演事務 (行政、芸術施設の主催公演のアンケート集計他公演事務) ・団体事務 (行政、芸術施設が行う情報誌の発送その他、団体事務) ・あそび育てフォーラム / 芸術工房祭 / あそびの学校等の実施 ・芸術イルミパークの実施 など	
業務内容	・各種文化・芸術に関する事業の主催及び共催 ・アールで開催される財団事業などのサポート ・会員の知識や技術を向上させるための講座及び研修会の開催 ・市民に開かれた会であるための各種情報の発信及び収集 ・あらゆる市民が参加できる文化活動 など ※財団から業務委託 (約 190 万円)			
運営母体との関係				
組織図				
特色ある活動	・ 広報誌発行 年 4 回 (広報グループ) ・ フロントスタッフ (支援グループ) ・ クルーズコンサート、ギャラリー展示企画	・ 地域住民が直接参画するイベント「24 時間ぶっとおしライブ」及び「コラーレ ワールドフェスティバル」を実行委員会形式で実施。		
その他	・ 創造スタッフ室 / 会議室の利用	・ アクティブグループはミーティングルームを無料で使用できるほか発表会など開催時の利用料減免や広報協力。		

■公立文化施設への市民参画事例（昨年度、市民ホール建設準備会に提出した資料を一部修正）

参考資料 1

種 類	想定される業務の内容・支援内容	必要となるもの	小田原市での類似事例
会場案内 （レセプションист）	・チケットのもぎり、会場案内、チラシ折込み、クローク・サービスなどのフロント業務 ⇒養成講座を定期的実施しサービスレベルの向上を図る必要がある。	・ユニフォームなどの貸与 ・着替えスペース、待機スペースなど（会議室などを転用）	・小田原文化サポーター（レセプションистグループ）
場内アナウンス	・会場での案内アナウンス（影アナ）、禁止事項や緊急時の対応等の説明など ⇒養成講座を定期的実施しサービスレベルの向上を図る必要がある。	・待機スペースなど（会議室などを転用）	・FM ラジオにトライ！番組制作ワークショップ（H22）
託児サービス	・事前予約による未就学児の一時預かり （都内の民間事業者の場合は、自己負担 2,000 円程度かかる。開演の 30 分位まえから終演までの一時預かり。 0才児 1 名に対してシッター1 名、1才児 2：1、2 歳児以上 3：1 程度の基準で対応）	・託児室／キッズルーム	・はちの会（託児ボランティア）
ビュフェ・サービス	・公演の顧客に対する軽食やドリンクのサービス	・ユニフォームなどの貸与 ・着替えスペース、待機スペースなど（会議室などを転用）	
ホール・デコレート	・季節や演目に合わせた花や樹木などでホワイエ・ロビーなどのデザイン、飾りつけ	・水場のある作業スペース	
個別事業へのサポート	・特定の催し・事業へ協力したい方を募集 ⇒人材の把握、連絡ルートづくりが必要。		・小田原文化サポーター ・小田原城ミュージックストリート・ボランティア ・小田原映画祭・ボランティア
作品ガイド 展示サポート こども鑑賞教室	・展示作品の保守や説明など（学芸員による解説指導を受ける。） ・アーティストが新たな作品制作をその場で行うような場合には、制作の手伝い・補助を行う。 ・ギャラリートーク・ワークショップなどの補助	・会議スペース	・尊徳記念館解説ボランティア
ピアノ弾きならし	・いつも最高の音色を奏でるピアノとするため、ホールにあるピアノを使用頻度の少ないときに弾きならす。		
記録写真の撮影 ビデオ撮影 アーカイブづくり	・公演の写真撮影・録画／DVD 作成 ・チラシ・ポスターなどの保存など ⇒実費分を依頼者支払い		
照明・音響など 裏方サポート	・音響や照明などのワークショップを実施した上で、ロビーコンサート、ストリートミュージックなどの屋外コンサートなどの PA や照明設営、オペレートなどで活躍。 ⇒裏方業務については、危険を伴う割合が高いため、きちんとした養成講座・ワークショップなどを実施した上で、可能な業務範囲を見極めて実施することが必要となる。	・会議スペース	・小田原城ミュージックストリート・ボランティア
事務局 デスク機能	・市民文化団体などが企画実施する催し物の問い合わせなどの対応 ・NPO 組織になった場合は事務局（有償ボランティアなど） ・市民活動の中間支援／中間支援の中間支援的位置づけ ・ボランティア間での交流会などの実施 ⇒市民活動の人材のコーディネート的な役割りが期待される。	・支援系スペース ・パソコン ・電話／FAX	・市民活動サポートセンター（市民会館 4 階）
機関紙発行 活動の紹介HP 作成	・市民文化活動の状況、ホール主催事業などの市民の目線での取材・編集など ・文化情報のホームページ上での共有化	・印刷機／プリンター ・パソコン	・無尽蔵プロジェクト（市民による芸術文化創造）イベントカレンダー ・文化情報紙作成ワークショップ（H23）
ポスター・チラシ作成	・チラシのデザインアドバイス、印刷、DM 発送など	・印刷機／プリンター ・パソコン	

市民企画の公募制度	・アートマネージメント講座などの受講者が企画を作り、一定の基準を満たした事業を実施する。（施設・付帯設備などを特定日に無料にして実施するケースや、自主事業として組み入れられるようなケースもある。） ・施設の運営方針などの趣旨に沿った事業であること、実施にかかる役割分担・リスク分担の明確化などに留意する必要がある。（審査は専門家の外部組織に委ねられるケースもある。）	・市民公募企画やリクエストの制度化	・おだわらたまてばこ（小田原文化サポーター・H21/H22） ・市民活動応援補助金（文化活動を含む市民活動一般を対象） ・小田原音楽フェスティバル
-----------	--	-------------------	---

友の会組織	・年会費 2,000～3,000 円程度（通信費相当） ・特典：自主事業チケット先行予約、チケット割引、情報誌やチラシの送付、館内レストランカフェ割引など ・友の会活動の延長として、上記のような市民活動メニューが用意されている例もある。 ・施設運営組織が友の会組織を持つ場合と、組織外部に友の会組織を作る場合がある。	・事務局機能	
-------	---	--------	--